

11 月 7 日：銀行、不動産株を中心に 2 日続落

月曜日に指数は 2% 以上の下落となった。銀行、不動産株が多くのストップ安を伴い下落した。

ホーチミン取引所の VN 指数は 21.96 ポイント (-2.2%) 下落し 975.19 ポイントで取引を終えた。先週は 2.94% 下落していた。

306 銘柄が下落し、その内の 136 銘柄がストップ安、40 銘柄のみが上昇した。

流動性は低下、売買代金は 18.5% 減の 10.6 兆ドン、出来高は 6 億 4,680 万株であった。

大型株、中でも銀行・不動産セクターが大きく下落した。VN30 指数は 25.07 ポイント (2.51%) 下落し 972.85 ポイントで取引を終えた。

VN30 指数では 20 銘柄が下落、その内の 8 銘柄がストップ安、8 銘柄のみが上昇した。2 銘柄は変わらずだった。

ノバランドグループ (NVL) は 7% 安、テクコムバンク (TCB) も 7% 安、ベティンバンク (CTG) は 4.7% 安だった。

その他、ホアファットグループ (HPG)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、軍隊商業銀行 (MBB)、ビンググループ (VIC) などとも下落した。

決算シーズンが終えた後、市場は金利の引き上げや証券会社のマージン金利引き上げなどの問題に直面している。

今後とも下値を探る展開となると SSI 証券は予想した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 6 ポイント (2.93%) 安の 198.56 ポイントで取引を終えた。

出来高は 6,850 万株、売買代金にして 9,550 億ドンであった。

注目すべきことに外国人投資家は買い越し、ホーチミン取引所で 5,218 億ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。